

# LLP ■有限責任事業組合金澤町家

所在地：〒920-0854 金沢市安江町 4-20

☎076-254-0647（事務担当：古村）

E-mail：kanazawa-machiya@nifty.com

URL：http://kanazawa-machiya.net/

組合員 9 名（代表者・武藤清秀）

設立年月：平成 20（2008）年 11 月

## ○地区の概要及び団体発足の経緯

石川県の県庁所在地である金沢は、かつて前田藩の城下町であった。幸い戦災や震災の被害に遭っていないことから、旧市内には城下町時代の道路形態と地割が多く残されている。藩政期の金沢は、城郭および藩関係の施設を中心に、城下町の大部分を武家屋敷が占め、その間を縫うように帯状に町家が分布していた。面積的には、武家地が約 6 割、町人が 3 割弱、寺社が約 1 割、戸数では、町人が城下町全体の約 7 割を占めていたため、非常に高い密度で居住していたことになる。また、町人居住地は、街道、往還など城下町を形成する主要な道路に沿うように配置されていた。

旧市内における歴史的建築物は、H.11 年に約 10,900 棟であったが、H.16 年に約 9,500 棟、さらに H.21 年には約 8,300 棟まで減少し、年間約 240 棟が滅失していた。最近の調査によれば、H.24 年に約 6,150 棟、H.29 年に約 5,600 棟と、5 年間の平均で年間約 110 棟減少しており、まちなかの歴史的建築物は確実になくなってきている。

このような状況を踏まえ、歴史的建築全体について継承・活用していく取り組みを組織的に行うため、これまで金沢の歴史的建築に関わってきた大学研究室、建築技術者及び一般市民などが集い、H.17 年 6 月に「金澤町家継承・活用研究会」が発足した。H.19 年、金澤町家研究会と名称を変更し、H.20 年 2 月、NPO 法人の認証を受けた。同年 11 月に、建築物の修復の実務に関わる「有限責任事業組合（LLP）金澤町家」が設立された。



金澤町家研究会・金澤町家事務局のある町家

## ○主な活動内容

「LLP 金澤町家」は、これまで町家所有者あるいは所有を希望する方の改修に関わる疑問や悩みに対し、専門的な知識と技術をもって応えてきた。

昨年度までに町家相談に対応した件数は 92 件で、そのうち LLP 金澤町家の担当建築士が関わり、改修工事を行って完了した件数は 28 件で、相談件数に対して約 3 割ということになる。

この中には雨漏り・外壁に対する小修理をはじめ、軸組みの修正を含む根本的な修理工事まで様々で、工事や設計を担当するのは、(公社)金沢職人大学校・修復専攻科を修了した経験豊富な職人や設計士である。

年	相談件数	工事完了
平成 20年	3	3
平成 21年	3	0
平成 22年	12	6
平成 23年	5	5
平成 24年	4	1
平成 25年	21	5
平成 26年	10	3
平成 27年	12	1
平成 28年	13	3
平成 29年	9	1
合計	92	28

各年（1月～12月）の相談件数と工事完了件数

LLP 金澤町家では、これまで改修の相談に応えると共に調査業務も行ってきており、今年度は金沢市から 3 件の調査業務を受託した。有形文化財を目指した調査が主である。

## ○これからの活動の課題等

・H.27 年 3 月に開業した北陸新幹線の影響により金沢を訪れる観光客が急増し、その観光客を取り込もうとする事業も増加している。そのような事業の増加に比べ、生活に密着した小売店・専門店がまちなかから急速に消え、まちなか区域（旧市内）の人口は停滞・減少しており、地域のつながりもまた薄れてきている。このような現状に待ったをかけるため、町家を核として新たなコミュニティを作り出すとともに、都市の持続可能な仕組みを見出していきたい。

・伝統構法に熟達した職人に、その技術を発揮できる場を提供し、意欲ある若手職人に町家の修復工事に参加してもらい、仕事を通じて伝統構法を継承することが引き続き課題といえる。